

プラネアルファ

「あかり」～友と共に灯そう～

2022年9月22日発行 No. 381



常任委員 三木 和仁
財務部資金運用課

今回の作成担当

JR四国労組
LINE公式アカウント



友達募集中

JR連合 青年・女性委員会

第31回定期総会開催



JR連合青年・女性委員会第31回定期総会が9月10日、JRゲートタワーカンファレンスにて開催され、JR四国労組からは幹事1名及び総会委員4名並びに傍聴2名が参加しました。現地およびリモートをあわせて、全国から100名を超える仲間が参加し、スローガン『**共につき進もう～全国の仲間と明るい未来へ～**』を掲げ、向こう1年間の活動方針を決定しました。



冒頭、沖島議長（JR西労組）が挨拶に立ち、新型コロナウイルス感染症への対応、安全確立への取り組み、青年・女性委員会活動への取り組みについて所信を述べました。また、来賓としてJR連合・荻山会長、同青年・女性委員会担当の宮野企画局長、地元JR東海ユニオンより尾内中央執行委員長にお越しいただき、期待と激励を込めた挨拶を賜りました。

質疑では、JR四国労組より山本総会委員が「安全について」、「政策課題について」、「仲間との交流」など諸課題について発言しました。



山本総会委員より発言



JR連合
荻山会長ご挨拶



幹事に再任となった
矢野議長

JR四国労組総会委員の発言要旨

1. 安全について

JR四国労組では、安全の確保は鉄道事業者にとって絶対に守るべき使命であり、すべてに優先する最重要課題との考えのもと、チェック・提言機能を発揮し、安全の取り組みの強化を図っております。安全の確保のためには、定められたルールに従うことが必要ですが、一方で、そのルールが実態に即しているか、安全が最重要課題であるからこそ、最適解を考える必要があります。青年女性会議として、若手組合員の意見や考えを吸い上げ、「安全・安定・安心輸送」の実現に向けて進んで参ります。

2. 政策課題について

コロナ禍の長期化に加え、燃油価格の高騰よりJR産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。JR四国・ジェイアール四国バスにおいては昨年、一昨年と比較すると少しずつ収入が戻りつつあるものの、コロナ禍以前の水準を下回っているのが現状です。アフターコロナを見据え、変化を恐れず主体性を持って、課題に対して前向きにチャレンジしていきます。また四国で暮らし、四国で働く者の夢である「四国新幹線実現」のため、議論の加速、機運の醸成に向けて様々な場で意見を発出します。

3. 仲間との交流について

JR四国労組は、役員研修会やユースラリーなどのJR連合が主催する行事のみに参加させていただいており、四国地協としての青年女性委員会の活動はできていないのが現状です。四国のみで地協の活動をするのは難しいかもしれませんが、グループ労組等を巻き込んだ活動に取り組んで参ります。

また、今総会において、3名の幹事会役員が勇退、新たに3名が選出され、再任された沖島議長、三浦副議長を含む新たな幹事会が結成されました。

最後に総会アピールを採択し、沖島議長の発声のもと団結ガンバローで総会を締めくくりました。

【役員選出】

役職名	氏名	単組	備考
議長	沖島 裕章	JR西労組	再任
事務長	三浦 寛顕	JR東海ユニオン	再任
幹事	三星 輝之	JR北労組	再任
	角 衣里香	JR東海ユニオン	新任
	三宅 美花子	JR西労組	新任
	矢野 宏樹	JR四国労組	再任
	稲葉 稜	JR九州労組	再任
	石塚 大祐	貨物鉄産労	新任



再任された沖島議長による
団結ガンバロー

